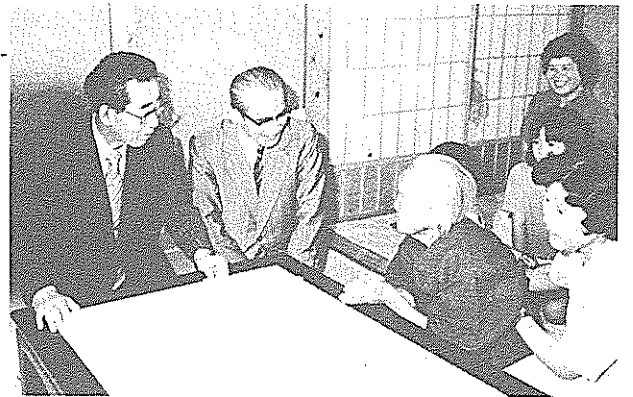


ますます"元気"

県下最高齢者 山下須磨さん、104歳



小笠原市長、中内知事の訪問を受け、うれしそうに話す須磨さん

市内の下島に住む須磨さんは、明治十年九月三十日生まれで県下最高齢者です。敬老の日を前に九月十四日、中内知事と小笠原市長が、須磨さんの長寿を祝福に訪れました。黒い着物で身づくろいをした須磨さんは、息子や孫らといっしょに元気に迎え、市長らが「もともと」と、

長生きしてください。」と言って、贈り物を手渡すと、手を合わせ、お礼の言葉を何度も何度も述べていました。須磨さんの趣味は、買い物とひる寝で、買い物途中でお年寄りのちと世間話をするのが、何よりの楽しみだそうです。好きな食べ物は野菜で、油っこいものは食べない

ということ。敬老の日が近づくと、県下最長寿ということで、テレビや新聞などの取材がたくさん来て、少し疲れた様子でしたが、まだまだ元気いっぱい。いつまでもいつまでも、元気で長生きしてください。

観音さま参りを生きがいに

稲生の森サチさん(89歳)

観音さまをお参りして八十年近く、稲生の森サチさんは、八十九歳の信心深いおばあちゃん。昔から、仕事の傍らも介良の岩屋の観音さまをお参りに欠かさず行っていました。その間、恐いめにも合いましたが、「これみな観音さまが、気持ちをためてくれるのだ」と思い、なおいっそう信心する決心がついたそうです。

一年ほど前、稲生の熊野神社の南にあった観音さまを、豊永市さんが道を整備し手すりをつけました。それから森さんは、家から四十分もかかるお参りを、雨の日も風の日も欠かしたことなく、

またお参りにくる人たちの悩み事の、相談にのっています。最近お参りに来るようになった横田達喜さんは、「関節炎で指が動かなくなったが、ここへ来るようになって元気になった」と、観音さまのこりやくに感心のようにうす。運動のため、人のため、神様のため、おばあちゃんは、今日も元気に観音参りを続けています。



石段を登る姿が元気いっぱいの森サチさん

まだまだ健在

「老人パワー」

老人大学は年々盛況を見せる。今年も多くの人に参加し、熱心に勉強した。



老人大学に250人

老いてますます勉強

身体を適度に動かし、頭を使うことが健康で長生きをする一つの条件だとか。九月十日、社会福祉センターで開かれた「第十六回老人大学」に市内のお年寄り約二百五十人が参加し、熱心に勉強しました。

ゆみ、午後は高知新聞論説委員・上村浩先生の「最近の国際情勢」と題する講演を聞いて、新しい社会事情の勉強を深めていました。参加したみなさんは「まだまだ若い者には負けないぞ」という意気込みが感じられ、懇親会の席でも、昔の思い出話や地域の話題に話がはずんでいました。

心のふれあいを大切に

老人体育大会に800人が参加



力強く選手宣誓—農作業や家事をわすれて、この日はおもしろい汗を流した。

九月十八日、市民体育館で行われた「第十回老人体育大会」に八百人が参加し、地区別に八チームに別れて気持ち良い汗を流しました。



「かばやき競技」—チームメイトの声援を受け、思わず重心にかえる

た。

利岡富次大会長から「勝敗は別にし、身体を動かし、この大会を通じてお互いの心のふれあいを大切にして」と激励を受けたあと、さっそく競技にうつりました。

お年寄りのスポーツといえば、このごろではゲートボールに人気がありますが、日頃スポーツにはなじみの薄いお年寄りが、年に一回の体育大会とあって、みなさん各競技にハッスルしていました。また、競技の合間には元気なおじいさんが熱れつな「応援合戦」をくりひろげるなど、楽しいふん開気で大会を盛り上げていました。成績は次のとおりです。

- 優勝 稲生 十市連合チーム
- 二位 岡豊チーム
- 三位 三和チーム